

学期	月	時数	単元名 項目名	学習目標 学習内容	評価の観点			評価規準 評価方法
					知	思	態	
1 学期	4 月	6	歴史のとらえ方と調べ方 ・歴史の流れと時代区分 ・歴史の調べ方・まとめ方・発表の仕方	・中学校の歴史学習の導入として、小学校で学習した内容をもとに課題を追究したり解決したりする活動を通して、年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解させ、資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身につけさせる。 ・小学校での学習を踏まえて、歴史上の人物や文化財、出来事などと時代区分の関わりなどについて考察し、適切に表現させる。		○	○	【知】年代の表し方や時代区分の意味や意義など基本的な内容を理解している。 【知】資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。 【思】時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、時代区分との関わりなどについて考察し表現している。 【態】私たちと歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 (学習プリント・小テスト・定期考査)
	5 月	12	古代 ・人類の登場から文明の発生へ ・東アジアのなかの倭(日本) ・中国にならった国家づくり ・展開する天皇・貴族の政治	・世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解する。 ・日本列島において狩猟・採集を行っていた人々の生活が農耕の広まりとともに変化していったことや、自然崇拜や農耕儀礼などに基づく信仰が後の時代にもつながっていることに気づかせる。 ・古墳の大きさやその分布をもとに、ヤマト王権の勢力の広がりや大きく捉えさせ、東アジアとの関わりについては、大陸から移住してきた人々が日本の社会や文化に果たした役割に気づかせる。 ・聖徳太子の政治、大化の改新から律令国家の確立に至るまでの過程を大きく捉えさせ、大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられたことを理解させる。 ・大陸からもたらされた仏教が、日本の文化のさまざまな面に影響を及ぼしたことに気づかせ、国際的な要素をもった文化が栄えたことを理解させる。	○	○	○	【知】世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解している。 【思】古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けするなどして、世界の古代文明や宗教のおこりや古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 【知】日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷(大和政権)による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解している。 【知】律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。 【知】仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを基に、国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解している。 【思】古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 【態】古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 (学習プリント・小テスト・定期考査)
	6 月	12	世界の姿	・緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解できる。 ・世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現できる。	○	○	○	【知】緯度と経度、大陸と海洋、主な国々の名称と位置などを理解している。 【思】世界の地域構成の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 【態】世界の地域構成について、見られる課題を主体的に追究しようとしている。 (学習プリント・小テスト・定期考査)
	7 月	6	日本の姿	・我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解できる。 ・日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現できる。 ・世界の中での日本の位置や広がりについて関心を持ち、地球儀や地図を活用して、それらの事象を主体的に追究、解決する。	○	○	○	【知】我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解している。 【思】日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
			・古代までの字音の振 り返り	・古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現する。 ・古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付ける。		○	○	
					○	○	○	

2 学期	8 月	2	人々の生活と環境	・世界各地の人々の生活や変容を基に、生活や環境の多様性を理解する。 ・世界各地の人々の生活の特色や変容の理由を、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。	○	○	○	【知】人々の生活は、自然及び社会的条件から影響を受けたり、影響を与えたりすることを理解している。 【知】世界各地における人々の生活や変容を基に、その多様性を理解している。 【思】世界各地の人々の生活の特色や変容の理由を、多面的・多角的に考察し、表現している。 【態】世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 (学習プリント・小テスト・定期考査)
	9 月	12	世界の諸地域 ・アジア州	・世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解する。	○	○	○	【知】世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解している。
	10 月	12	・ヨーロッパ州 ・アフリカ州 ・北アメリカ州	・アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地的特色を大観し理解する。 ・アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 ・世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。	○	○	○	【知】アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地的特色を大観し理解している。 【思】アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 【態】世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 (学習プリント・小テスト・定期考査)
	11 月	12	・南アメリカ州		○	○	○	
	12 月	9	・オセアニア州		○	○	○	
3 学期	1 月	9	中世 ・武士の世の始まり	・武士が台頭して武家政権が成立し、その支配が広まったことを理解させる。 ・武家政治の特徴を考察し、天皇や貴族の政治との違いという観点から、古代から中世への転換の様子に気づかせる。 ・蒙古襲来（元寇）がユーラシアの変化の中で起こったことなど、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解させる。 ・南北朝の争乱の中で室町幕府が成立し、武家社会が次第に大きな力を持てたこと、日明貿易で銅銭が大量にもたらされ、貨幣経済の発達を促したこと、琉球が日本、明や朝鮮、東南アジア諸国との中継貿易を行っていたことに気づかせる。 ・農業など諸産業の発達や畿内を中心とした都市や村における自治的なしくみの成立が、当時の社会の大きな変化であることや、それに伴って商品流通が活発化したことに気づかせる。 ・武家政治の展開や民衆の成長を背景とした多様な文化が生まれたことを理解させ、この時代の文化の中に現代に結びつくものが見られることに気づかせる。 ・各地に戦乱が広まる中で戦国大名が登場し、自らの領国を支配して分国法を定めたり、城下町を形成して産業の振興に努めたりしたことや、下剋上の風潮など、社会全体が大きく変化したことに気づかせる。 ・中世の日本を大観して、時代の特徴を多面的・多角的に考察し、表現する。	○	○	○	【知】元寇などを基に、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解している。 【知】南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解している。 【知】農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。 【思】武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、武家政治の成立とユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 【思】中世の日本を大観して、時代の特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。 【態】中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 (学習プリント・小テスト・定期考査)
	2 月	12	・武家政権の内と外 ・人々の結びつきが強まる社会		○	○	○	
	3 月	3	・中世までの学習の振り返り	・中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付ける。	○	○	○	